



表彰に向けた
募集のお知らせ

地球温暖化防止活動 環境大臣表彰

平成25年度

環境省では、平成10年度から、地球温暖化対策を推進するための一環として、毎年、地球温暖化防止月間である12月に、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人又は団体に対し、その功績をたたえるため、地球温暖化防止活動環境大臣表彰を行っています。



221の応募作品から
山口県 中村由美さんの
ロゴマークが採択されました。

平成25年度も、“技術開発・製品化部門”、“対策技術先進導入部門”、“対策活動実践・普及部門”、“環境教育活動部門”、“国際貢献部門”において表彰候補者の募集を開始しました。

●表彰の対象

各部門における顕著な功績のあった**個人又は団体**(自治体、企業、NGO、学校等。共同実施も含む。以下同じ。)及び上記の活動において連携や支援を行っている個人又は団体を表彰対象とします。
また、表彰対象者は、原則として日本に在住する者又は組織の拠点を日本国内に置く団体に限ります。
ただし、応募申請内容と同一の活動あるいは功績により、過去に地球温暖化防止に関する環境大臣表彰を受けているものは表彰の対象となりません。

●応募の方法

応募締切

平成25年

9/17(火)

17:00
(必着)

応募の申請は所定の様式に必要事項を記入し、下記の提出先へ郵送にてご応募ください。なお、様式2については電子ファイルの送付も必要となりますのでご注意ください。申請書については、<http://www.zenkoku-net.org/topics/awards.php>をご覧ください。8/6(火)環境省報道発表「平成25年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰募集及びロゴマーク決定について(お知らせ)」をご覧ください。

なお、ご不明な点は下記までご連絡ください。

提出先 平成25年度地球温暖化防止環境大臣表彰事務局(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル 4F
TEL: 03-6273-7785 FAX: 03-5280-8100 E-mail: daijin-hyosyo@jccca.org

自薦、他薦
問いません。



応募にあたって

■対象部門

各
部
門
詳
細

①技術開発・製品化部門

省エネ技術、新エネ技術、省エネ製品、省エネ建築のデザイン等、温室効果ガスの排出を低減する優れた技術の開発によりその製品化を進めたこと(商品化されていないものを含む)に関する功績。

②対策技術先進導入部門

コジェネレーション、ヒートポンプ、新エネ製品、省エネ製品、省エネ型新交通システム、省エネ建物等、温室効果ガスの排出を低減する技術や製品の大量導入・先導的導入に関する功績。

③対策活動実践・普及部門

地球温暖化防止に資するライフスタイル実践・普及活動、地域における効果的な節電に関する実践・普及活動、植林活動等、地球温暖化を防止する活動の実践・普及等継続的な取組(過去の実績は短期間でも将来、持続的な発展が期待される活動を含む)に関する功績。

④環境教育活動部門

地球温暖化について教育資料の開発、情報の提供、学校や市民、企業内における教育活動や普及・啓発等継続的な取組に関する功績。

⑤国際貢献部門

地球温暖化防止に資する技術移転・指導、教育普及活動、国際会議での貢献、海外での植林等、国際的な地球温暖化防止対策活動に関する功績。

■選定方法

地球温暖化防止活動環境大臣表彰選考委員会による審査を経て環境大臣が決定します。

■表彰方法

表彰状及び記念品を授与するとともに、受賞標章の使用を認めます。

■受賞者の公示及び表彰式

【受賞者の決定】平成25年11月下旬 【表彰式】平成25年12月上旬

■結果の通知

受賞者には11月下旬頃の公表までに事務局から通知をします。また、非受賞者には通知はしません。結果については受賞者に係る報道発表資料を環境省ウェブサイト(www.env.go.jp)よりご確認ください。なお、審査経過に係る問合せ、審査結果等に対する異議申立てについては受け付けませんのでご了承ください。

■問合せ先

平成25年度地球温暖化防止環境大臣表彰事務局(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル 4F
TEL:03-6273-7785 FAX:03-5280-8100 E-mail:daijin-hyosyo@jccca.org

●平成24年度受賞者一覧

技術開発・製品化部門	・株式会社資生堂 ・株式会社神鋼環境ソリューション ・JX 日鉱日石エネルギー株式会社 ・日本郵船株式会社、株式会社 MTI ・福島工業株式会社
対策技術導入・普及部門	・株式会社アミノアップ化学 ・株式会社セブン-イレブン・ジャパン ・株式会社豊田自動織機、株式会社ナニワ炉機研究所、学校法人近畿大学、大阪府森林組合 ・株式会社ローソン
対策活動実践部門	・愛媛県立丹原高等学校 ・エコワークス株式会社 熊本支店 ・エンテック研究所 ・おひさま進歩エネルギー株式会社 ・株式会社神戸製鋼所 加古川製鉄所 ・京セラ株式会社 福島棚倉工場 ・日本興亜損害保険株式会社 ・認定特定非営利活動法人 おかやまエネルギーの未来を考える会 ・美合温泉 ビレッジ美合館 ・ヤマト運輸株式会社 ・レンゴー株式会社 八潮工場
環境教育・普及啓発部門	・秋田市立秋田商業高等学校ユネスコスクール班 ・岡田 清隆 ・高崎市立馬庭小学校 ・特定非営利活動法人 環境保全会議あいづ ・特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム ・朴 恵淑 ・秦野市立東中学校 ・東久留米市 市民環境会議 暮らし部会 ・福山市立旭小学校 ・山本 達雄

※昨年度は今年度と部門の名称が異なります。 ※昨年度は国際貢献部門の該当はありませんでした。

下記のウェブサイトもご参考ください。

URL http://www.zenkoku-net.org/env_minister